



やっぱり草津がいい  
**令和2年度施政方針**

3月定例市議会が3月3日開会し、橋川市長が  
 令和2年度の施政方針を述べました。その概要をお知らせします。

問 財政課(3階) ☎561-2304、FAX561-2483



過日の市長選挙において、市民の皆様が温かいご支援を賜り、第19代草津市長として、引き続き4期目の市政を担わせていただくこととなりました。

これまでの3期12年間で培った経験と実績をもとに、10年先、20年先、30年先の草津の次代をしっかりと見据えながら、自信を持って次の世代にこの住みよいまちを引き渡すことができるよう、「ずつとずつと草津」宣言で掲げた「安心」、「活力」、「安全」、「透明」の4つの政策分野の取組をしっかりと進めていくことで、本市の市民だけでなく、草津に関わる全ての人が、草津に誇りと愛着を持つことのできる「ずつとずつと住み続けたいまち草津」の実現に向けて、市民の皆様と対話をしながら、新しい価値を共に創りあげていきたいと考えています。

草津市が持続可能な都市へと発展し続けるために

「第5次草津市総合計画第3期基本計画」のリーディング・プロジェクトの推進

- 「健康都市」づくりの推進  
 「健康フェア」などの健康関連イベントの開催に加えて、飲食店や商業施設と連携した食育に関する取組や、都市公園、緑のある空間を活用した健康遊具の設置など、引き続き、市の総合政策として、「健康都市基本計画」に基づく施策を着実に推進します。「住む人も、訪れる人も生きがいを持ち、健やかで幸せになれるまち」をめざして取組を強化します。
- 「まちなか」を生かした魅力向上  
 JR南草津駅開業25周年を契機として、南草津エリアの長期的な視点によるまちづくり推進ビジョンの策定、公共交通ネットワークの充実を進め、まち全体が活気にあふれる、ふるさと草津の魅力向上に取り組みます。

●「コミュニティ活動の推進

「第2次協働のまちづくり推進計画」に基づき、まちづくり協議会や市民公益活動団体などの多様な主体が連携・協力しながら、複雑・多様化する地域課題に対し、自らその解決を図っていくことができるよう、市政運営全体の基本方針である「協働のまちづくり」の実現をめざした取組を進めます。

「5つの重点施策」

重点施策①  
 防災・安全のまちづくりの推進

近年は、全国各地で地震や風水害などの自然災害が多く発生し、災害に強いまちづくりを進めることは、市の最重要課題の一つであると考えています。防災・減災対策のさらなる強化を図り、安全で安心して暮らせるまちをめざした取組を進めます。

重点施策②  
 教育の充実

「第3期草津市教育振興基本計画」においても、基本理念として「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」を掲げ、その実現に向けて、本市教育のさらなる質の向上をめざした取組を進めます。

重点施策③  
 子育て支援の充実

「第2期草津市子ども・子育て支援事業計画」、「草津市子ども・若者計画」に基づき、結婚、妊娠・出産、

子育てにおいて切れ目のない支援を提供します。就学前教育・保育の充実など、子育て支援をさらに充実させるとともに、全ての子ども・若者が健やかに成長し、自分らしく生きることができるようまちをめざした取組を進めます。

重点施策④  
 高齢者福祉の充実

高齢者が、住み慣れた地域や家庭でいきいきと輝き、安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。「草津あんしんいきいきプラン第7期計画」に基づき、基本理念・目標の実現に向けた取組を進めます。

重点施策⑤  
 スポーツ健康づくりの推進

子どもの体力向上や生涯スポーツの活動の推進など、全ての市民の皆様がスポーツや運動に親しみ、スポーツの推進と心身の健康を保持・増進する取組を進めます。

「出会いが織りなすふるさと」「元氣とつながるおい」のあるまち草津」の実現に向けて

「第5次草津市総合計画」に描く将来像「出会いが織りなすふるさと」「元氣とつながるおい」のあるまち草津」の実現を図るため、「第3期基本計画」に掲げる目標の達成に向けた取組を、着実に実施していきます。

予算については、市民ニーズに対応した質の高い行政サービスの提供と、財政マネジメントによる持続可能な行政経営の実現を図るため、歳出全般にわたる徹底した見直しと、施策・事業の優先順位付けによる「選択と集中」を行い、喫緊の課題に対応する事業、早期に取り組むべき5つの重点施策、「第5次草津市総合計画第3期基本計画」のリーディング・プロジェクトに対して、重点的な財源配分を行いました。



# みらいにつなぐ健幸都市くさつ 令和2年度当初予算

5つの重点施策と「第5次草津市総合計画第3期基本計画」のリーディング・プロジェクト事業を推進するため、財源を戦略的に配分しました。新規事業や拡大事業を中心に、今年度の主な施策と概要を紹介します。

## 重点施策

### 重点施策① 防災・安全のまちづくりの推進

**新規** 洪水・内水ハザードマップ策定費  
1,720万円

国や県による浸水想定区域図の改定に合わせて、本市ハザードマップの更新を行います。

**継続** マンホールトイレ整備費  
1,787万円

災害時でも避難者が安心して使用できるトイレを確保するため、マンホールトイレを広域避難所となる小・中学校に整備します。

### 重点施策② 教育の充実

**継続** (仮称)草津市第二学校給食センター整備費  
24億874万円

令和3年度3学期からの給食センター方式による中学校給食の提供開始に向けて、「(仮称)草津市第二学校給食センター」を整備します。

今年度は、用地の造成工事や施設の建設工事を行います。



**拡大** 英語教育推進費  
3,671万円

子どもたちが、英語でコミュニケーションができる力を身に付け、自らの考えや意見、情報を積極的に発信できるよう、英語教育の充実を図ります。

- ・全小中学校にJTE(日本人英語指導助手)を配置
- ・ALT(外国人英語指導助手)を3名配置し、全小中学校を巡回
- ・英語教育オンライン授業を実施
- ・スコア型の英語4技能検定を全中学校で実施

**拡大** 学校ICT環境充実費  
7億7,890万円  
(うち令和元年度補正予算対応6億3,842万円)

国の「GIGAスクール構想」に基づき、段階的に小・中学校のICT教育環境の充実を図ります。

今年度は、高速大容量ネットワーク環境の構築と、小学5・6年生、中学1年生には1人1台のタブレット端末を、その他の学年には3人に1台のタブレット端末を配備します。



### 重点施策③ 子育て支援の充実

**新規** 乳幼児健診 ネット予約システム導入費  
265万円

乳幼児健診の受付に、ネット予約システムを導入し、待ち時間の短縮や混雑の緩和を図り、より受診しやすい環境を整えます。



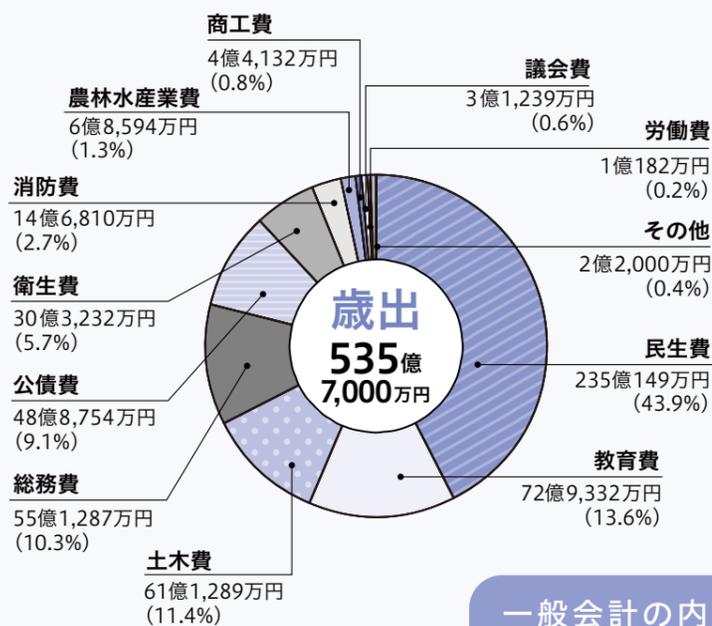
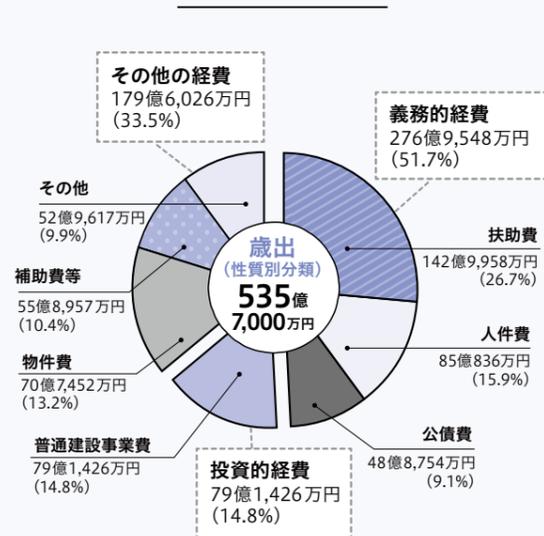
**拡大** 民設児童育成クラブ 施設整備費補助金  
1,250万円

多様な保育需要に対応するため、民設民営の放課後児童育成クラブの施設整備を支援し、定員不足の解消に努めます。

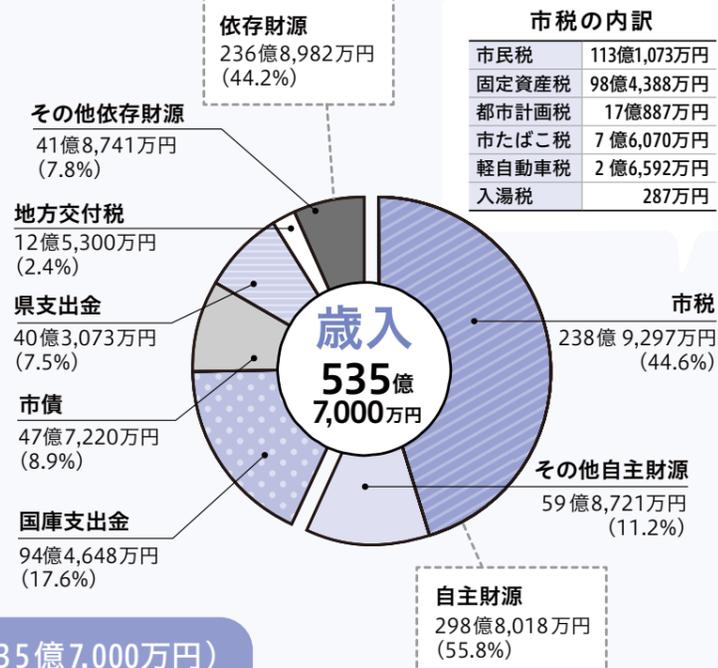
**拡大** 民間保育所等施設整備費補助金  
11億5,863万円

増加する保育需要に対応するため、民間保育所と小規模保育施設の施設整備を支援し、保育定員の拡大による待機児童の解消に努めます。

### 歳出の性質別分類



### 一般会計の内訳 (535億7,000万円)



※四捨五入の関係で値が合わない場合があります

## 各会計予算規模

項目	予算額	前年度比
一般会計	535億7,000万円	1.8%増
特別会計	337億9,190万円	
合計	873億6,190万円	

**一般会計** 行政の基本的な経費を市税などを主な財源として経理する会計

**特別会計** 特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

## 主な新規・拡大事業

### 新規 「草津のサンヤレ踊り」重要無形民俗文化財指定啓発事業費 50万円

令和2年3月に、国の重要無形民俗文化財に指定された「草津のサンヤレ踊り」を通じて、本市の歴史文化への親しみを感じてもらい、関心を引き出すとともに、本市の歴史の保存・継承への理解を促進します。



### 新規 JR南草津駅周辺交通対策社会実験 事業費 5,700万円

JR南草津駅東口ロータリーの混雑の緩和や、公共交通の定時性の確保に向けた方策を検討するため、滋賀県などの関係機関と共に社会実験を実施します。



### 新規 まめタク実証運行費 342万円

バス交通空白地・不便地における地域住民の移動手段を確保するため、事前に利用者からの予約があった便のみ運行する、デマンド型の乗合タクシー「まめタク」の実証運行を行います。

### 新規 (仮称)多文化共生推進プラン策定費 58万円

多文化共生に関する施策をまとめた計画を策定し、さまざまな文化を持つ、外国人住民と日本人住民が共に認めあい、助けあい、活かしあいながら、誰もが心豊かで安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。

### 新規 草津市エコ・アクション・ポイント 事業費 73万円

環境に配慮した市民の行動や取組に対してポイントを付与し、貯まったポイントは商品などと交換できる仕組みを構築することで、環境への関心を抱ききっかけづくりとするとともに、日常の環境に配慮した自発的な行動の実践につなげることで、地球温暖化防止をはじめとする環境保全の推進を図ります。

### 拡大 働き方改革推進費 1,082万円

滋賀県や県内市町が連携してICTを活用した研究を進めることにより、県や市町の枠組みを超えた行政手続きの電子化を推進するとともに、いつでも・どこからでもアクセスしやすい行政窓口の実現へ向けた取組を進めます。

また、AI・ロボティクスなどの新技術の活用により、業務の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、在宅勤務(テレワーク)など多様な働き方を推進し、働きやすい職場づくりを進めます。



### 新規 ロタウイルス予防接種費 1,718万円

乳幼児期の重い急性胃腸炎の原因の一つであるロタウイルスのワクチンを、国の規定に基づき、定期予防接種として公費により実施します。

問 財政課(3階) ☎561-2304、FAX561-2483

## 重点施策⑤ スポーツ健康づくりの推進

### 継続 (仮称)草津市立プール整備費 4億4,929万円

令和6年に開催予定の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。

整備・運営は民間ノウハウを活用したPFI方式で行い、今年度は、事業者を選定し、造成工事や施設的设计を実施します。

### 新規 くさつランフェスティバル開催費補助金 200万円

「健幸都市くさつランフェスティバル」(6月6日) ※詳しくは16ページ)を通じて、市民のスポーツ健康づくりの推進や、草津川跡地公園の新たなにぎわい創出に取り組みます。

## 第5次草津市総合計画 第3期基本計画リーディング・プロジェクト

### “まちなか”を活かした魅力向上

### 継続 (仮称)市民総合交流センター整備費 34億7,436万円 (うち令和元年度補正予算対応34億3,297万円)

人権センターやまちづくりセンターなど既存公共施設の集約を図るとともに、新たに子育て支援や市民交流のための機能などを備えた公民複合施設として、(仮称)市民総合交流センターを整備し、にぎわいと交流を促進します。今年度は、令和3年5月に予定している供用開始に向けて、工事の進捗を図ります。

### コミュニティ活動の推進

### 新規 地域課題解決応援交付金 2,100万円

各まちづくり協議会が将来を見据え、それぞれの地域の課題解決や魅力発掘のために取り組む事業に対して支援します。

## 重点施策④ 高齢者福祉の充実

### 拡大 認知症施策推進費 285万円

「(仮称)草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」の制定と「草津市認知症施策アクション・プラン」の第3期計画の策定を行うとともに、認知症の人の、偶発の事故によって、その家族などが損害賠償責任を負った場合に、補償を受けることができる認知症個人賠償責任保険事業を実施し、認知症があっても安心して暮らし続けることができるまちの実現をめざします。

### 拡大 在宅医療・介護連携推進事業費 1,315万円

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、在宅医療・介護の専門職の連携を推進するための拠点を地域医療支援病院に設置し、在宅医療・介護の一体的な提供体制の構築をめざします。

### 「健幸都市」づくりの推進

### 拡大 健幸都市づくり推進費 1,695万円

市民が生きがいを持ち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」の実現をめざし、「草津市健幸都市基本計画」に基づき、行政や地域、大学、企業、団体などが連携し、市の総合政策として健幸フェアの開催をはじめ、健幸都市づくりに向けた取組を進めます。

### 拡大 高齢者フレイル<sup>\*</sup>予防事業費 705万円

介護予防拠点などでの健康教室や、地域サロンなどへのフレイル予防講座を実施することで、高齢者の健康を保持・増進し、健康寿命の延伸につなげます。

※フレイル：身体機能や認知機能などが低下して、虚弱となった状態のこと。要介護予備軍とされる。